

# 夏の節電について



道民の皆様におかれましては、日頃から省エネ・節電にご協力いただき感謝申し上げます。

この夏も、日々の暮らしの中で、是非省エネや節電に積極的に取り組みましょう。



電力の需給ひっ迫があらかじめ想定される時には、国や電力会社から事前に情報が提供されます。

## 需給ひっ迫 準備情報

2日前に予備率が5%を下回る見通しの場合、一般送配電事業者より発信

## 需給ひっ迫 注意報

1日前または当日に予備率が3~5%の見通しの場合、資源エネルギー庁より発令

## 需給ひっ迫 警報

1日前または当日に予備率が3%を下回る見通しの場合、資源エネルギー庁より発令

※予備率：電力需要に対して供給余力の余裕がどの程度あるかを示したもの

詳しくは経済産業省ホームページの省エネポータルサイトをご覧ください。



小まめにチェック  
するでござる!



## でんき予報をチェック!

電力需給情報サイト「でんき予報」では、その日の電力の供給力と使用状況をお知らせしています。夕方には翌日の予報も発表されます。

省エネポータルサイト

検索



※経済産業省ウェブサイト([https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving\\_and\\_new/saving/](https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/))

「省エネポータルサイト」をもとに作成

北海道エリア でんき

検索



※ほくでんネットワークウェブサイト ([http://denkiyoho.hepco.co.jp/area\\_forecast.html](http://denkiyoho.hepco.co.jp/area_forecast.html))

# もしもの時のための備えを

平成30年の北海道胆振東部地震の教訓等を踏まえ、平時より十分な備えをしておきましょう。

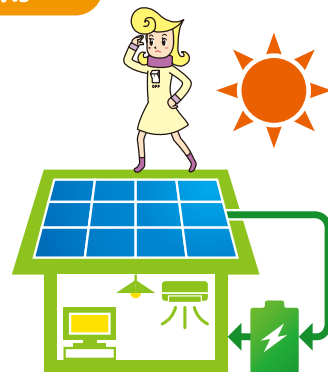
## 停電に備えた日頃の準備

### 太陽光発電をご自宅に設置されている方は

ご自宅の屋根などに太陽光発電パネルを設置されている方は、停電時でも「自立運転機能」により発電している日中は電気を使うことができます。※

自立運転機能の使用方法は、メーカーや機種によって操作方法が異なることから、あらかじめ、取扱説明書などを確認しておきましょう。ただし、発電や蓄電の容量は限られていますので、停電の場合にも有効に活用できるよう、日頃からご自宅で使用している家電の消費電力を把握しておくなど、準備しておきましょう。

※蓄電機能が付いている機種は夜間の使用も可能となります。



電子レンジ	1,000~1,500W
ドライヤー	1,000~1,200W
電気ポット(沸騰時)	900~1,000W
エアコン	300~2,200W

冷蔵庫(400ℓ、電動機)	100~150W
液晶テレビ(32型)	50~100W
LEDシーリングライト(8帖)	40~60W

掲載のW(ワット)数は定格消費電力の一例であり、実際の使用時の消費電力は製品の種類、使用方法により異なります。出典 道庁調べ

### 満タン&灯油プラス1缶運動

満タン&灯油プラス1缶運動とは、大規模災害発生直後、店頭混雑によってガソリン等燃料が入手困難となった状況を回避するために、「日頃から車の燃料が半分程度になったら満タンにしておくこと」や「灯油を1缶余分に保管しておくこと」を推奨する運動です。



### 車の燃料が満タンに なっていれば

- プライバシー空間としての車内を情報収集拠点として利用できます。
- 400km程度の移動が可能になります。(タンク容量、車両燃費により異なります)



### 灯油が1缶(18ℓ) 余分があれば

- 暖かい空間を85時間程度維持できます。(和室7帖を中火燃焼した場合)
- ホームタンクをお使いの地区でも、1缶余分に持つことで災害時の安心度が高まります。

もしもの時のために、  
車は満タンに、灯油は多めに  
備えましょう。

[お問い合わせ先]

全国石油商業組合連合会

TEL:03-3593-5811(代) FAX:03-3580-9245



## 非常用発電設備をお持ちの方へ

### 非常用発電設備の燃料備蓄状況を確認してください

#### 十分な量があるか

災害時には、燃料の輸送手段が確保できなくなったり、営業している給油所に給油を求める方が集中する等、燃料の確保に時間を要する可能性があります。日頃から十分な備蓄量があるか確認しましょう。

#### 保存方法と定期的な点検

酸化・劣化による燃焼不良や、沈殿物発生による燃料フィルターが目詰まり等を防ぐため、涼しい場所に密閉して保存するとともに、定期的に点検及び入替を行ってください。

大規模停電が発生した場合に備えた<事例集>を作成しました。

道では、生活・産業・交通インフラ等の各分野で懸念される事象、停電への備え及び対応事例等について、関係業界や個別企業、行政機関等へのヒアリングを実施し、<事例集>としてとりまとめましたので、ご活用ください。

詳しい情報は  
こちらから

